

様式第5号（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在 (地番)	田方郡函南町田代字ウシロ山 355番の内	地目	山林	面積	489.82m ²
工事中又は 工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中	土工	②、⑦	盛土、仮置きした堆石土砂等が雨天時に流出し、近隣の沢や河川の濁度が上昇する等、水質に影響を与える可能性がある。		簡易の沈砂池を設け濁水流出の抑制をする。		
工事中・ 工事後	伐採工	②、⑦	伐採面積が小規模なので地下水の変化はないと思われる。一時的に裸地となるので豪雨等による土砂流出量の増大の可能性がある。		法面の角度を30°以下にする。防災小堤を設け法面が崩壊したときはそこで抑止する。		
工事後	仮設工	②、⑦	法面が崩壊し仮設道路（私有地）に土砂が流出する可能性がある。		雨天後に法面の点検をし法面のひび割れ等の異常が認められた場合は速やかに措置をする。		

(注) 1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。

①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）

2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。